



2-7 JICA 関西国際センター訪問 生徒感想（抜粋）

・オンバダさんの話を聞いて、たいへんなことも慣れない環境での生活でしんどいことも多いけれど、その経験の分だけ人生の財産になっていくんだと感じました。(略) ワークショップでは本当に生活に欠かせないものは何かをすごく考えた時間でした。手に入れようと思えばだいたいのが手に入る環境でしか生活をしたことがなく、限られたものでの生活は想像するだけでしんどいなと思い、今の状況がどれだけ楽で幸せな環境なのかということを感じさせられました。

・今年フィリピンにボランティアに行ったときも思いましたが、いつも当たり前に思っていることは全く当たり前ではなく、とてもありがたいことなんだと思いました。今の私たちに本当に必要なものは、日々のありがたさを感じ、喜びを感じるのだなと思いました。

・現在タンザニアにいるストリートチルドレンの現状を SNS を通して発信していますが、いつかタンザニアなどに行って、自分自身も経験していきたいと思います。

・今日学んで、日本は本当に恵まれていると感じました。トイレはきれいで、水があって、水道の水もきれいで、空気もよくて、食料もあって、平和な国だと思います。けど、今日話を聞いていて、難民でこんなにしんどいくらしをしてもポジティブで明るいくらしをしているのに、なんでこんなに恵まれている日本人はあまり幸せそうな人が少ないんだろうと思いました。考えてみたら、私はこの恵まれている生活を当たり前だと思っているから、と、仕事の過労死のせいだろうなと思いました。

・世界で貧困によって苦しんでいる人がいることは知っていたけど、想像以上に多く、国の中でも格差が生じているということに衝撃を受けました。(略) 自分たちの当たり前は、世界では当たり前のことではないかもしれません。だからこそ、様々な視点から考えてアイディアを出したり、できる範囲内で体験してみることが大切だと思います。

・日本の廃棄食品の量が多いというのは知っていたけれど、けた違いの状況でびっくりしました。ワクチンをうけられていない子どもたちのワクチンの値段よりも多いと思うと、もっと日本国内で問題視すべきだと思いました。今の生活、暮らしがどれだけうれしいことか実感しました。

・今まで日本で育ってきて日本はまだまだ世界に追いついていないと思ったこともありましたが、そもそもスタートが違って、今を、今日を、明日を生きるのに必死の人もいることを頭においておきたいと思いました。もちろん今の自分の環境に感謝すること、自分の未来のために努力することも大切ですが、他国の困っている人のために行動し、少しでも世界がよい方向へ向かうように努力するのも大切だと思いました。

それぞれしっかり話を聞いてメモをとり、感じたことを書いてくれてありがとう。
日々の暮らしに感謝しながら、私たちにできることを少しずつやってみようね！